

指導例

操作遊び



対象年齢:1歳児

おすすめ
絵本「だるまさんが」
かがくいひろし
ブロンズ新社

ねらい:学ぶ力・豊かな心・つながる力

☆大好きなことを見つけて楽しく関わる子ども

☆いろいろなことに興味や関心を持ち、やってみようとする子ども

☆できた喜びを感じる子ども

- ・保育者との触れ合いの中で信頼関係を築き、安心して友達と一緒に楽しく過ごす。
- ・保育者の見守りの中で、好きな遊びを見つけ、繰り返し十分に楽しむ。

経験する内容

- ・興味のある遊びを見つけて自分からやってみようとする。
- ・繰り返し遊ぶ満足感や、できた喜びを味わう。
- ・手や指先を使った遊びを十分に楽しむ。
- ・保育者のすることに興味を持って、模倣することを楽しむ。
- ・遊んだ玩具を保育者と一緒に片付ける。



子どもの姿

- ・パズルや紐通しなど、繰り返し集中して遊んでいる。保育者にできたことを表し、ほめられて喜ぶ。
- ・ブロック、クネクネバーン、型入れ、積み木は保育者と一緒に楽しんで、「もういっぱい」「もうひとつ」と言いながら何度もやって遊んでいる。
- ・好きな遊びを見つけて一人で遊んだり、友達の遊びに興味を持ったりする。



環境・援助で気をつけること

- ・小グループで保育者は担当制とし、安定した関わりの中で興味・関心を育てるコーナーづくりをする。
- ・積み木、粘土、パズル、クネクネバーン、シール貼り、紐通し、汽車レール、ミニカー、デュプロなどの中からいくつかのコーナーを設定し、好きな遊びができるようにする。
- ・家庭的な雰囲気的环境設定と期ごとに遊びを広げていけるコーナーづくりを、クラス内で話し合い工夫する。
- ・グループごとに知育遊びや絵本を配置して、一人遊びが十分できる工夫をする。
- ・振り向けば見守ってくれる担当保育者がそばにいるなど、子どもが安心できるような環境づくりに配慮する。
- ・玩具を入れる「かご」に玩具の写真を貼付し、遊びが終われば片付けることを知らせる。

(3)【2歳児】

大切にすること		自分でできた！気持ちを受け止め、自信と自律性を育む。	
発達の特徴 子どもの姿		自分で！自分で！ 運動機能や指先の機能の発達に伴い、身の回りのことを自分でしようとして基本的な生活習慣を身に付ける。生活や遊びの中で、行動範囲を広げ、探索意欲が増し、自己主張が強くなる。自分の意志や欲求を言葉で表現し、模倣遊びやごっこ遊びを楽しむ。	
		内容	環境・援助
保育・教育内容	つながる力 関わる・伝える・感謝・理解・共感・思いやり・折り合い・規範意識・ルール	○日常の簡単なあいさつをされると、自分から進んで応じようとする。 ○保育者や友達と言葉のやりとりを楽しみ、したいことしてほしいことを身振りや簡単な言葉で表現する。 ○自分の思いや行動のすべてが受け入れられないことに気付いていく。 ○保育者の言葉がけにより、良いことや悪いことに気付く。 ○簡単な約束の中で遊ぶ。	○保育者も親しみを持ってあいさつを交わし、自分からあいさつをする喜びを感じ取れるようにする。 ○保育者の仲立ちにより、遊具を共有して遊ぶ。 ○子ども同士のぶつかり合いが多くなるが、子どもの気持ちを大切にし見守り関わる。
	豊かな心 自尊・自信・環境感受性	○自己主張が強くなり、自分の気持ちを表現する。 ○生活や遊びを援助してもらいながら自分でできた喜びを感じる。 ○身の回りの小動物、植物に触れ、興味・好奇心を持つ。	○一人一人の子どもの気持ちを受け止め、共感しながら信頼関係を築く。 ○自分でしようとする気持ちをほめ、励まし、自立を促す楽しい環境を整える。
	健やかな体 生活習慣・運動	○楽しい雰囲気の中で、スプーンの正しい持ち方を知り、食事をする。 ○簡単な衣服を自分で脱いだり、手伝ってもらいながら着たりする。 ○身の回りの清潔や安全の習慣が少しずつ身に付くようになる。 ○保育者の援助によって自分の物の置き場所が分かり、自分で片付けようとする。 ○戸外で歩いたり、跳んだり、体を動かしたりして遊ぶことを楽しむ。	○服の着脱の仕方を一人一人に丁寧に伝え、手伝ってもらいながら自分でしようとする姿を認める。 ○危険な場所や危ないことに対し分かるように伝えたとともに、安全に配慮する。 ○楽しみながら体を動かせる遊びを取り入れる。 ○散歩や戸外遊びを通して、全身を使って遊べる機会を持つ。
	学ぶ力 興味・関心・探究心・言葉・聞く・話す・遊び・体験・達成感	○友達や保育者がすることに興味を持ち、やってみようとする。 ○生活や遊びの中で物の形や色に興味・関心を持つ。 ○保育者や友達と言葉のやりとりを楽しみ、したいことしてほしいことを身振りや簡単な言葉で表現する。 ○絵本や紙芝居を楽しく聞き、繰り返しのある言葉の模倣を楽しむ。 ○保育者と一緒に簡単な見立て遊びやつもり遊びを楽しむ。	○絵本を読んで聞かせたり、子どものしたことをお話にしたりして、言葉に対する興味を持てるようにする。 ○落ち着いた雰囲気の中で、絵本の世界を楽しむようにする。 ○見立て、つもり遊びのイメージを共有し、その中に入って保育者も遊ぶ。
家庭との連携		○自己主張を大事にしながら、受け入れられないこともあることを知らせるようにする。 ○見立て遊びやつもり遊びを、一緒に楽しめるようにする。 ○子どもの状態に合わせて着脱や基本的生活習慣の身に付け方を知らせ、ともに進める。	

指導例

ごっこ遊び「家族ごっこ」



対象年齢: 2歳児

ねらい: つながる力・豊かな心・学ぶ力

- ☆大好きなことを見つけて楽しく関わる子ども
- ☆相手を思いやり、感謝の気持ちを持つ子ども
- ☆いろいろなことに興味や関心を持ち、やってみようとする子ども

- ・保育者と一緒に簡単な見立て遊びやつもり遊びを楽しむ。
- ・簡単な約束の中で遊ぶ。
- ・大人の模倣をしながら、保育者と言葉のやりとりを楽しむ。
- ・自分なりの動きを楽しむ。
- ・友だちとの関わりができ、遊びを広げる。

経験する内容

- ・自らの思いのまま遊びを進める。
- ・平行遊び的ではあるが、一部の場面を友達と共有し合う。
- ・日常生活で印象深かった動作を再現して楽しむ。
- ・人形やままごと、人形のおんぶひも、布団、服、袋物、携帯電話などを使い、見立て、つもり、役割遊びを楽しむ。

子どもの姿

- ・みんながお母さんになり、同じ様におんぶひもで人形をおんぶさせてもらったり、布の袋を持ったりして、同じ遊びを楽しむ。
- ・人形に哺乳瓶でミルクをあげたり、布団に寝かせたり、椅子に座らせて食べさせたりして遊ぶ。
- ・印象に残ったことや、動作をまねたり、言葉を繰り返したりして遊ぶ。
- ・自分の遊びを言葉や動作で伝え、保育者や友達と共有して遊ぼうとする。



環境・援助で気をつけること

- ・取り合いにならないよう、同じ遊具を揃えておく。
- ・一人でのなりきり遊びから、一緒に遊ぶことによりやりとりを広げ、場面に合った言葉の使い方を知らせる。
- ・イメージしていることを受け止め、楽しさに共感する。

おすすめ
絵本「はらぺこあおむし」
エリック・カール 偕成社

(4)【3歳児】

大切にすること		自分でできるという気持ちが育ち、認められたり制限されたりする経験を通して、自分は自分だという気持ちを育む。	
発達の特徴 子どもの姿		自分でできる！ 友達大好き！ 生活に必要な生活習慣を身に付け、自分がはっきりとし、好きな遊びを友達と十分に楽しむ。自分で次の活動への見通しや思い、期待を持って生活しようとする。盛んに質問をするなど、知的な興味や関心を広げていく。	
保育・教育内容	つながる力 関わる・伝える・感謝・理解・共感・思いやり・折り合い・規範意識・ルール	○自分から積極的に日常のあいさつをしようとし、名前を呼ばれたら喜んで返事をする。 ○集団として一緒に活動することを喜ぶ。 ○異年齢の子どもに親しみをもち、地域の人と触れ合うことを楽しむ。 ○友達の気持ちを分かろうとする。 ○遊びや生活のルールを知り、守ろうとする。	○きちんとあいさつや返事ができたときはほめたり、大人が手本となったりして、気持ちよくできることを知らせる。 ○ふれあい遊びやゲームなど、楽しく遊べる集団遊びを通して、つながりを感じられるようにする。 ○遊びや生活に必要なルールを分かるように伝える。
	豊かな心 自尊・自信 環境感受性	○自分の居場所が分かり、安心して過ごす。 ○自分の気持ちが分かる。 ○自然や身近な小動物に触れて遊び、驚きや親しみをもち持つ。	○保育者や友達と親しみ、安心して過ごせるように配慮する。 ○子どもの発見や驚き、感動を大切に受け止め、共感する。
	健やかな体 生活習慣・運動	○楽しい雰囲気の中で、はしを使って自分から食べようとする。 ○自分から排尿、排便をしようとする。 ○生活の仕方が分かり、簡単な身の回りのことは自分でしようとする。 ○体を動かすことに喜びを感じ、三輪車や固定遊具等を使って活動的に遊ぶ。 ○簡単なルールのある体を動かす遊びを楽しむ。	○食事に興味を持てる話や「おいしいね」など言葉がけをして、楽しい雰囲気の中で食事ができるようにする。 ○自分のことは自分でしようという気持ちを大切にしながら見守り、必要に応じて手助けする。 ○活動的な遊びが楽しめる環境を整える。 ○保育者も一緒に遊び、体を動かす心地よさを知らせる。
	学ぶ力 興味・関心・探究心・言葉・聞く・話す・遊び・体験・達成感	○遊びを通していろいろな物への興味や関心を広げ、自分なりに表現しようとする。 ○身近な生活の中から数字や記号に関心を持つようとする。 ○友だちや保育者に自分の経験したことや思いを話そうとしたり、友だちの話を聞こうとしたりする。 ○絵本や紙芝居の読み聞かせを楽しむ。 ○自分の興味ある遊びを見つけて 集中して取り組む。 ○友達と一緒にごっこ遊びを楽しむ。	○子どもの伝えようとする気持ちを大切に受け止め、人の話を聞く大切さも知らせる。 ○保育者が一緒に遊びに加わり、遊具の使い方を見せたり、子どもの発想を認めたりして興味や関心を高める。
家庭との連携		○自分でしようとする気持ちを大切にしながら見守る。 ○子どもの話したいことを十分聞いてもらうよう援助する。 ○はしの使い方を知らせ、家庭でも使ってみる。 ○諸行事を子どもとともに楽しみ、子どもが成長している姿を喜び合えるようにする。	

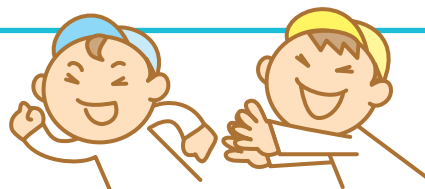
指導例

おにごっこ

ねらい:つながる力・健やかな体

- ☆体を使って思い切り遊ぶ子ども
- ☆場面に応じて柔軟に体を動かす子ども
- ☆決められたルールを守り、自分達のルールをつくって遊ぶ子ども

- ・集団として、一緒に活動することを喜ぶ。
- ・友達や保育者と一緒に体を動かす心地よさを味わう。
- ・簡単なルールのある集団遊びの楽しさを知る。



対象年齢:3歳児

おすすめ
絵本

経験する内容

- ・保育者や友達と一緒に思い切り体を動かして遊ぶ。
- ・遊びのルールを知り、守って遊ぼうとする。
- ・保育者と一緒に、じゃんけんをして勝ち負けを知る。
- ・オニ役を決めて、オニ役の役割が分かって動く。
- ・オニ役は保育者と一緒に10数えて、子役を追いかけてタッチしたら交代する「でんつきおに」などを楽しむ。

子どもの姿

- ・オニ役はタッチしようと、子役はタッチされないように、早く走ったり身をかわしたりして楽しむ。
- ・ルールや役割を分かって楽しんでいる。
- ・「おもしろかった」「またやろう」と満足感を味わったり、「おにごっこしよう」と保育者や友達を誘って遊ぼうとしたりする。



環境・援助で気をつけること

- ・保育者も一緒に遊びに加わり、じゃんけんの仕方やルールを指導しながら、楽しく遊べるようにする。
- ・どの子どもも楽しめるように、オニ役が固定しないように援助する。
- ・思いどおりにならなくて、くやしがりたり怒ったりするなどいろいろな感情を経験しながら、遊びのおもしろさを体験できるように援助する。

(5)【4歳児】

大切にすること		集団での活動を楽しみ、自己主張と他者を受容する感情を育む。	
発達の特徴 子どもの姿		友達と一緒に楽しい！ 全身のバランスがとれ、想像力が豊かになる。自分でできることに喜びを持つとともに、自他の比較や自分の行動の予測などから不安や葛藤が生じるようになる。仲間としてのつながりが強くなり、一緒に遊びながら互いに主張し合い、相手の気持ちに気づき、自分の気持ちを抑えようとするなど関わりを深める。	
		内容	環境・援助
保育・教育内容	つながる力 関わる・伝える・感謝・理解・共感・思いやり・折り合い・規範意識・ルール	○日常生活に合ったあいさつをしようとする。 ○ルールのある集団遊びを楽しむ。 ○気の合う友達とのつながりを深め、相手に自分の考えを伝えたり相手の気持ちに気付いたりする。 ○友達の気持ちを感じ取る中で、言うてはいけないことやしてはいけないことがあることに気付く。 ○様々な葛藤を通し、自分の気持ちに折り合いをつけ、いろいろな活動を試みる経験を積み重ねる。 ○安全に生活するためのルールを友達と一緒に守る。 ○簡単なルールを守って、集団で活動することを楽しむ。	○友達との関わりの中で、一人一人の考えや頑張りやを互いに認め合えるよう見守り、子どもが安心して生活できるように配慮する。 ○遊びに必要な言葉や決まりを知らせ、守ろうとする気持ちが持てるような支援をする。 ○生活に必要なルールを分かりやすく伝える工夫をする。
	豊かな心 自尊・自信 環境感受性	○感情が豊かになり、いろいろな気持ちを理解できるようになる。 ○自分なりの自信を持って、いろいろな活動に自分から参加する。 ○身近な動植物や自然事象、社会事象に親しみ、それらに愛情や関心を持ち、命の大切さに気付く。	○自然に触れたり、季節を感じたりできる環境を工夫し、感性を豊かにできるように、いろいろな感情体験が持てるようにする。
	健やかな体 生活習慣・運動	○友達と一緒に楽しく食事をしながら、食べ物や体に興味を持つ。 ○1日の生活の流れに応じて、自分のことは自分でしようとする。 ○遊びや生活習慣に自主的に取り組む態度を身に付ける。 ○戸外で全身を動かし、みんなと一緒に簡単なルールを守って遊ぶ楽しさを味わう。	○菜園活動等を通して、食べ物大切さに気付かせる。 ○自分のことは自分でできるという自信や満足感を味わえるよう援助する。 ○運動遊具や用具の安全な使い方を知らせ、ルールを守って楽しく遊ぶ経験を重ねる。
	学ぶ力 興味・関心・探究心・言葉・聞く・話す・遊び・体験・達成感	○身近な事物や事象に関心を持ち、数、量、形等への関心を高める。 ○相手の話を注意して聞き、感じたことを自分なりの言葉で話す。 ○絵本や童話、簡単な素話などに親しみ、友達や保育者とイメージを広げて楽しむ。 ○言葉遊びを楽しみ、日常生活や絵本などを通して、文字に興味を持つ。 ○友達と一緒に遊びに必要なものを作ったり、遊びを広げたりして、工夫して遊ぶことを楽しむ。	○生活の中で広がる子どもの質問と一緒に考えたり、調べたりしながら興味や関心を深められるような関わりをする。 ○感じたこと、思ったことや想像したことなどを、工夫して、様々な方法で表現できるようにする。 ○様々な素材や用具を使いやすく整え、子ども自身が考えたり、工夫したりできる環境を整える。
家庭との連携		○自立の時期なので、子どものできることは自分の力で進められるように待つ姿勢を大切にし、ともに見守っていく。 ○絵本の貸出などを通して、読んであげることの大切さを知らせる。 ○子どもが試行錯誤しながら行う様子を温かく見守り励ますように提案する。	